



純粋培養の落とし穴

農薬や食品添加物が体に良くないことは周知の事実であり、私たちは誰もが「オーガニック食材の方が健康だ」と考えているかと思います。しかしながら、ある研究では「オーガニック食品だけを摂取しても、健康状態は一般的な食材を取り入れている人と大きな差はない」という結果が出ました。その理由は、「オーガニックだけを摂取していても、体にはそれ相応の免疫や抗体は生まれられないため、結果的に抵抗力が無くなるから」ということです。つまり、「農薬を含んだ食材を食べても、体はその農薬を排除する抗体により健康を維持できるが、オーガニック食品だけを摂取していれば、そのような抗体は生まれず、結果的に体は抵抗力を失いかねない」ということの様です。(勿論、農薬の摂取にも限度があるはずですが...)

それが事実か否かはさておき、私はオーガニックのみに頼り切るような「純粋培養」には疑問を抱いている一人です。これは何も食品のみについてではなく、教育にも言えることかと思えます。

全てには絶えず二面生があり、「善」は必ずしも100%が「善」とは限らず、また「悪」も100%が「悪」とは限らない。コインの裏表の様に、全てに於いて、一長一短があると思うからです。

にも関わらず、まるでNHKの教育番組のように、余りに平和的な教育だけを子供達に与え、些細な子供同士の喧嘩にも大人が直ぐさまに介入する様な反応の仕方は、子供をひ弱に、そして他人の痛みも分からない様な大人にさせかねないと思えます。

私は何も、「(子供達に)背負うのも大変な重荷を与える」と言っているのではありません。しかしながら、「過ぎたるは及ばざるがごとし」という諺にもある通り、過干渉な躰は子供のためにはなりません。

遠藤周作氏の書物の中に「善魔」という言葉があったことを覚えています。「善」のみに突っ走り、純粋培養だけに意識が行きがちなることを表現した、氏の造語でしたが、「善魔」は本人が善かれ思っているが故に、余計に発見しにくく厄介なのです。「純粋培養な教育」もこの「善魔」の一種ではないでしょうか？

自分の子供の成長ばかりに意識が集中して、周りが見えない大人の姿勢は、一見、教育熱心なようですが、他人を思いやっていない、ということにも繋がります。

全ては二面性があるものです。「教育に熱心」の裏に潜む、ネガティブな部分。それに大人が気づいて教育に携わっているか否かでは大きな差があり、さもなければ「熱心」が裏目に出る事もあるでしょう。

Atsuko Saffell



Cafe information!

カフェのお知らせ

当カフェは**8月11日(日)から18日(日)までお盆休み**を頂きます。**8月19日(月) 正午から営業再開**となりますのでご確認下さいませ。

暑い季節にぴったりのソーダやアイスラテ、またアイスクリームやアフォガートといった冷たくて美味しいデザートもご用意しております！

皆様ぜひご来店下さい★



Summer Holiday

お盆休みのお知らせ

当校は**8月11日(日)から18日(日)までお盆休み**を頂きます。期間中、レッスンはございませんのでご確認下さい。また、日曜日は休校日となっておりますので、上記期間中に頂いたご連絡、お問い合わせへのお返事は8月19日(月)以降となる場合がございます。

ご不便をお掛け致しますが、何卒よろしくごお願い申し上げます。



School Information

スクールからのお知らせ

<お子様のご送迎に関して>

当校では混乱を避けるため、**レッスン開始の10分以上前にお子様をお連れ頂くことをご遠慮頂いております。**また、レッスン後は次の時間のクラスの生徒様で大変混雑致します。全てのお子様に注意が行き届かない危険がございますので、**お迎えにはお時間通りにお越し下さいますようお願い申し上げます。**

<ご来校のお時間に関して>

いずれのクラスにおきましても、レッスン開始時刻前から、講師による生徒様方の宿題の確認をさせて頂いております。つきましては、**可能な限りレッスン開始の5分程前頃にお子様をお連れ下さいますようお願い致します。**遅刻をされました場合、前週の復習が十分に行えない可能性がございます。